

事業報告書

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
鶴岡市伊勢原町8-32

令和2年度 事業報告

令和2年度事業の実施にあたっては、事業計画に基づき、国際交流促進事業、国際理解促進事業、多文化共生促進事業、国際村施設管理運営事業の4つを主要な事業として実施いたしました。特に令和2年当初から急速に拡大した新型コロナウイルスについては、感染の状況を注視しながら施設内の環境整備やオンラインでの事業を増やすなど安全面に十分配慮し、各種事業に取り組みました。

令和2年度に実施した主な事業は次のとおりです。

1. 国際交流促進事業

地域住民が国際交流を身近に体験する機会として、関係団体、ボランティアとの連携を図りながら、世界各国の文化・芸能・料理・音楽等を紹介する各種の催し

(1) 交流イベント開催・支援事業

①第25回国際村ワールドバザールの開催（実行委員会）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②出羽庄内国際村音楽祭（実行委員会）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③新年を祝う会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 交流事業の開催支援／実施

①コロラド州青年訪問団 受け入れ事業

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日本への入国できず中止

(3) 国際姉妹・友好都市等との交流促進

①鶴岡・ニューブランズウィック友好協会

手作りマスクと千羽鶴をニューブランズウィック市へ寄贈し、応援メッセージソングや動画を制作してインターネットで配信するなど、コロナ禍の中でも可能な交流活動を実施した。

長年の活発で独自性のある交流活動が評価され、第15回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）を受賞した。（報道発表日時 5月21日午後2時予定）

2. 国際理解促進事業

(1) 語学講座の開講

学習者のレベルにあわせた英語、中国語、韓国語、ドイツ語の講座を開講。
対象言語を母語とする外国出身者が講師を担当することにより、言語の習得と共にその国や地域に対しての理解を深めた。

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語では、時々話題を自由に話せるフリートーク型講座を開催した。

①外国語講座 ※開講日から6月まではオンラインで実施

| | |
|-------|-----|
| ○英語 | 18名 |
| ○中国語 | 23名 |
| ○韓国語 | 20名 |
| ○ドイツ語 | 20名 |
| 合計： | 81名 |

②フリートーク型講座 ※開講日から6月まではオンラインで実施

| | |
|--------|---------|
| ○英語 | 毎週木・土曜日 |
| ○中国語 | 毎週木・土曜日 |
| ○韓国語 | 月3回土曜日 |
| ○スペイン語 | 毎週土曜日 |
| ○フランス語 | 毎週木曜日 |
| ○参加者数 | 延べ 923名 |

③子どものための中国語講座

※開講日から6月14日まではオンラインで実施

| | |
|------|----------------------------------|
| ○期日 | 5月24日（日）～7月19日（日）9回開催 |
| ○参加者 | 2名 |
| ○内容 | 中国語の発音、中国語での簡単な会話、中国の童謡、唐詩の朗読など。 |

④短期講座 ベトナム語入門

※開講日から6月14日まではオンラインで実施

| | |
|------|------------------------|
| ○期日 | 5月24日（日）～7月26日（日）10回開催 |
| ○参加者 | 1名 |
| ○内容 | ベトナム語の発音と基本文法を学んだ。 |

⑤韓国語 特別講座

- 期 日 10月24日(土)
- 指 導 者 4名
- 参 加 者 18名(うち賛助会員3名)
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 「東大門へ遊びに行こう!」というテーマで4つの場面を設定し、実践的な韓国語会話の講座を実施した。

⑥英語 特別講座

- 期 日 2月28日(日)
- 指 導 者 4名
- 参 加 者 16名(うち賛助会員2名)
- 会 場 国際村ホール
- 内 容 旅行中に遭遇すると思われる様々なシーンごとにブースを設け、ネイティブスピーカーと一緒にその場にあった内容の会話をするなど、実践的な会話講座を実施した。

(2) 国際理解講座等の開催

子どもから大人まで、それぞれの興味に応じて参加できるよう、料理や体験講座など国際理解のためのカリキュラムを作成し実施した。

①せかいの台所：料理講座

日本在住の外国出身者を講師に迎え、料理を通して交流し、その地域の言語や文化などの理解を深めた。(年6回開催)

偶数月の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月から11月まで連続して6回開催した。

- 指導者出身国(地域)
アイルランド、中国、オランダ、ベトナム、ネパール、韓国
- 参加者 延べ79名
新型コロナウイルス感染防止のため、7月から9月までは会員(10名)のみで開催した。
- 会 場 国際村調理実習室、和習室

②ワールドコミュニケーションクラブ

- 指 導 者 通年：カリッサ・トラバース氏(鶴岡市ALT)
前期：キアン・ローレス氏(鶴岡市ALT)

- 後期：ダニエル・ポドボロチンスキー氏（鶴岡市ALT）
- 参加者等 中学生～高校生 延べ34名
 - 会場 国際村研修室、和習室、調理実習室ほか

- 内容 月に1回実施し、英語を使ったゲームやプレゼンテーション、ハロウィンクッキー作りなどに取り組み、また指導者の母国であるカナダの文化体験をするなど、英語を実践的に学んだ。新型コロナウイルスの影響で対面での活動ができなくなった期間は、オンラインで実施し、新たなアクティビティの可能性を広げることができた。

③太極拳体験講座

- 期 日 6月3日（水）～3月24日（水）
入門コース：水曜日
スキルアップコース：前期：木曜日/後期：水曜日
- 指導者 覃 莉莉 氏（上海出身/酒田在住）
- 参加者 入門コース 14名、スキルアップコース 8名
- 会場 和習室、国際村ホール
- 内容 中国武術の一門派である伝統太極拳の体験・習得

④フレンドシップサロン

外国人や海外活動経験者を講師に迎え、様々な知識や理解を深め、参加者が自由に意見交換できる講座を開催した。

- 期 日 9月18日（金）「パキスタンの古代史」
- スピーカー ハスネーン・ムハマド氏
（パキスタン・ラーワルピンディー出身/鶴岡市在住）
- 参加者等 延べ合計：25名
- 会場 国際村ホール

※12月6日（日）予定していた「アメリカの大都市と田舎の町」
（コルトン・ウェツェル氏（アメリカ・ニュージャージー州出身/
鶴岡市在住 ALT）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤世界を読み解くゼミⅡ～農業開発分野の国際協力から見えた課題と展望～

農業開発分野のコンサルタントとして世界各地で活動している講師による、国際協力活動から見えた世界情勢についての講座を5回にわたって開催した。2008年に開催したゼミの第2弾。

- 期 日 11月14日（土） 「多様性の魅力溢れるブラジル」

12月5日(土) 「ブラジル半乾燥地農業 気候変動と砂漠化」

12月19日(土) 「貧困と農業開発 マラウイ・東ティモール」

1月23日(土) 「マラウイでの活動報告 他」

2月20日(土) 「パキスタンでの活動報告 他」

○講師 渡部 直人氏 (農業コンサルタント/農学博士)
奥山 仁志氏 (JICA 派遣専門家) ※第3回目のみ

○参加者等 延べ合計: 73名

○会場 国際村ホール

(3) コロラド訪問団派遣

①コロラドスタディーツアー 異文化理解プログラム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②コロラドスタディーツアー 英語短期集中プログラム

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3. 多文化共生促進事業

在住の外国出身者が地域で安心して暮らせるよう、日本語指導、日本文化の体験、生活相談業務、情報の収集提供など各種事業を実施した。

(1) 日本語教室運営支援事業

毎週日・水・土曜日に開催している国際村日本語教室の運営の支援を行った。

①日本語教室

○開催日 毎週日・水・土曜日及び学習者のニーズに応じて実施

○体制 日本語指導者ボランティア 47名

○学習者 73名 (25ヶ国・地域)

アイルランド、アメリカ、イギリス、インドネシア、ウガンダ、エジプト、オランダ、ガイアナ、カナダ、韓国、ケニヤ、スペイン、スリランカ、中国、ドイツ、パキスタン、ネパール、フィリピン、フランス、ブルキナファソ、ベトナム、ベナン、ボリビア、モザンビーク、モンゴル

○会場 出羽庄内国際村、にこ・ふる、アートフォーラム (冬季)

②第10回日本語スピーチコンテスト in 庄内 (実行委員会)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③日本料理講座：器の会

ボランティアによる外国人向けの日本の家庭料理講習会を開催した。

- 期 日 11月14日（土）
内陸風 芋煮、大学芋等
- 参加者等 5名

④ぶどう狩り&芋煮会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤日本語指導ボランティア スキルアップ研修会 オンライン講座

- 期 日 11月29日（日）
12月 6日（日）
- 講 師 佐治木 敦子氏（国際教養大学専門職大学院 准教授）
- 場 所 オンラインで実施
- 参加者 43名（延べ人数）
- 内 容 日本語の指導経験者を対象にした研修会を開催し、指導ボランティアの指導スキルアップを目指した。
 - ・第1回目：教科書を使った初級の教え方
 - ・第2回目：教室活動の幅を広げる工夫

(2) 生活相談業務実施事業

生活相談業務担当者として国際交流専門員を配置し、必要に応じ行政、他の機関とも連携し、相談に対応した。

①生活相談窓口の設置

在住外国人及びその家族、外国人関連企業等の相談業務を実施した。

- 生活相談等 102件
- 内 容 教育・子育て：24件 医療・福祉：8件
生活環境：10件 労働関係：6件
家族・家庭：2件 年金・税金：2件
金銭の問題：1件
その他（在留資格等）：49件

②通訳・翻訳の対応

- 依頼件数 74件（通訳38件、翻訳36件）
- 依頼主 個人49件、公的機関10件、企業13件、その他2件
- 言語 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、イタリア語、パシュトゥ語、スペイン語、フランス語、オランダ語
- 内 容 医療関係：20件 生活全般：25件

教育関係：4件 観光関係：7件

その他：18件

○対応 国際村スタッフ：56件 通訳ボランティア：23件

その他：6件

③コミュニティ通訳者自主勉強会

外国出身者も参加して医療や教育、観光など通訳シミュレーションを行いながら専門用語や適切な表現などを習った。

中国語、英語、韓国語の3グループで、それぞれ毎月1回の勉強会を行った。

○期 日 各言語 毎月1回開催

○中国語 10回開催 参加者：78名

○英語 7回開催 参加者：30名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回を中止とした

○韓国語 10回開催 参加者：37名

○会場 国際村研修室、小研修室、応接会議室

④生活ガイドブック・情報マップの配布

地域在住の外国出身者向けに、国際村紹介パンフレット『ようこそ出羽庄内国際村へ』を増刷し、生活に必要な基本情報を記載した多言語版生活ガイドブックとマップと併せ、国際村窓口及び関係機関で配布した。

○国際村紹介パンフレット

ベトナム語版を追加 国際村パンフレット（5言語）改訂 100部印刷

(3) 情報収集提供事業

国際化に対応するための情報の収集・提供するためのシステムづくりを進めるとともに、ホームページの充実を図った。また会報を発行した。

①インターネットによる情報提供

ホームページやフェイスブック等で講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供した。

②会報の発行及びイベント情報などの提供

「国際村だより」を発行し、会員に国際村のイベント情報などを提供した。

③インターネットコーナーの設置

無料で使えるパソコン・インターネットコーナーを設置し、来館者、在住外国人の利便に供した。

4. 国際村施設管理運営事業

鶴岡市より、平成26年度から7年間、国際村の指定管理者に選定され、引き続き施設の使用許可に関する業務を受託するとともに、これまで市が直接行ってきた施設設備の維持管理業務についても受託し、利用者の利便性、サービスの向上が図られるよう努めた。

5. その他

(1) 賛助会員

○令和2年度実績

- ・個人会員 227名
- ・法人会員 10口

(2) 本財団評議員会・理事会の開催状況

① 評議員会

臨時評議員会（令和2年4月7日みなし決議）

第1号議案 監事の補欠候補について

定時評議員会（令和2年6月25日）

報告 令和元年度事業報告について

第2号議案 令和元年度収支決算について

第3号議案 評議員の補欠選任について

第4号議案 理事の補欠選任について

第3号議案 監事の選任について

① 理事会

第1回理事会（令和2年4月3日 みなし決議）

第1号議案 監事の補欠候補について

第2号議案 臨時評議員会の開催について

第2回理事会（令和2年5月22日）

第3号議案 令和元年度事業報告について

第4号議案 令和元年度収支決算について

第5号議案 評議員の補欠候補について

第6号議案 理事の補欠候補について

第7号議案 定時評議員会の開催について

第3回理事会（令和2年6月26日 みなし決議）

第8号議案 常務理事の選定について

第9号議案 常務理事への事務局長職の委嘱について

第4回理事会（令和3年3月34日）

- 第10号議案 令和3年度事業計画について
第11号議案 令和3年度収支予算について

② 監事監査

令和元年度事業報告及び収支決算に関する監査（令和2年5月21日）